

乳がん・卵巣がん・子宮体がん

乳がん、卵巣がん、子宮体がんなどの女性特有のがんは、女性ホルモンの過剰が大きな要因になっています。女性ホルモンは、コレステロールを原料にして卵巣に作られているので、肉・卵・牛乳・バター・マヨネーズ・ベーコン・ハムといった欧米型の高脂肪(コレステロール)食がこうしたがんの元凶ということになります。

肉や魚、卵や乳製品などが苦手にもかかわらず、こうしたがんにかかってしまう人は、冷え症の可能性がります。

がん細胞は 35℃で一番増殖し、39.3℃で死滅することが分かっています。実際、全身のどこにでも発生するがんも、温度の高い心臓や脾臓、小腸にはほとんどできることはありません。細胞が少なく低体温になりがちな食道、胃、大腸、子宮、卵巣などの管状、袋状の臓器に発生しやすいのです。乳がんも、乳房が胴体から突出して冷えやすいため発生していると考えられます。

漢方では「万病一元血の汚れから生ず」といい、すべての病気を瘀血(血の汚れ)が原因としています。また「食が血となり、血が肉となる」という考えがあります。これは、食物が胃腸で吸収されて、血液の成分となり、血液が各臓器や器官に栄養を運んで養っているという意味です。食べ過ぎたり、体に合わない食生活を続けたり、運動不足や冷えから血行が低下すると、血液中に老廃物や余剰物が増えてしまいます。その血中の老廃物を一箇所に固める血液の浄化作用の1つががんとすれば、その予防にも治療にも、血中に汚れをためない生活習慣が最も大事だということが分かります。

対策

- ・がんの元凶とされている活性酸素を除去するビタミンA、C、Eは、朝食をニンジン・リンゴジュースにすることで最も効率よく摂取できます。
- ・余計な老廃物が溜まらないように過食を慎み、運動と体を温めることによって老廃物を燃焼し、心を明るくもって徹底的に血液を浄化することが、がんの存在意義のない体づくりにつながっていくのです。
- ・生姜はがんをやっつけるNK細胞などを活性化し、免疫を上げ、なおかつがん細胞を自殺に導いてくれるので、生姜を大いに活用することをおすすめします。